

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 中学生海外派遣事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大
小分類	1	地域国際化の推進
主要な施策	3	国際性豊かな人材育成
事務事業番号	001	事務事業コード 62213001 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	中学生海外派遣事業費
------	------	------------	------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市内中学校(中等教育校含む)に在学する中学2年生
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 中学生を友好都市であるデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣する。 ・中学生6名(各学校から1名)、引率者2名を6泊7日の日程で派遣。 ・訪問前には、英会話や訪問国の文化や歴史などの事前研修を10回開催。 ・現地のご家庭にホームステイし、デンマークの生活や文化を体験する。 ・学校訪問、授業体験、生徒との交流のほか、市民と交流する。 ・デンマークの歴史的な施設や文化財を見学する。 ・帰国後は、報告書作成などの事後研修を3回開催。 ・在学する中学校などにおいて体験報告会を開催。報告書は、ホームページで公開する。 平成21年度は、新型インフルエンザの影響により中止したため、下記成果指標の平成21年度実績値(107名)は、平成20年度実績値と同数。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 本事業を通じ、将来を担う生徒たちに異国の文化や生活習慣を体験させ、国際理解を深めるとともに国際的な視野に立って行動できる人材を育成する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 中学生海外派遣事業実施要領

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	派遣生徒数	人	目標値	113	113	119	125	131
			実績値	107				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 いきいき人とまち基金積立金繰入金	千円	0	2,450	2,420	2,420	2,420	7,260
	一般財源	名称	千円	0	40	40	40	40	120
合 計				0	2,490	2,460	2,460	2,460	7,380
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	165	1,351			
			嘱 託 員	千円	74	456			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		239	1,807			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？
当事業の実施により、国際性豊かな人材の育成 が図られることから、今後市が主体として実 施していくことは妥当であると考えます。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由は何 ですか？
派遣生徒は異文化に触れることで日本との相違 を実感し、日本を見直す良い機会となってい る。また、帰国後の体験報告を通じ周囲の生徒 達も外国に関心を持つという波及効果もある。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
派遣される生徒数は限られているが、本事業を 継続して実施することにより国際性豊かな人材 を育成し、輩出することができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何ですか？
本事業の実施に必要な最低限である経費を予算計 上しているため、現時点での事業費削減は難し い。			

担当グループによる評価

改 善	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	将来を担う生徒たちが異国の文化や生活習慣に触れることにより視野を広げるとともに、国際理解を深める人材を育成する観点から本事業を継続していきたいと考える。今後は他市町村の実施状況・内容も参考にし、新たな事業実施の方法について協議・検討していく必要があると考える。
-----	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

改 善	備考	担当グループの案通り、事業実施の手法・方向性について調査・検討すること。
-----	----	--------------------------------------

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）